

しゅうれんかい（修練会）からのメッセージ

公益財団法人豊島修練会 2016年10月10日号（通算第14号）

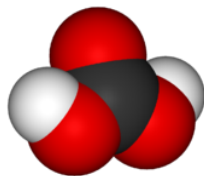
子どもたちへ（小さなお子さんには読んであげてください）

勉強したことを覚えることは、とても大事です。でも、それが使えるようになることはもっともっと大事なことです。サッカーだって、ルールや仕方を知っているだけでなく、実際に試合ができたほうがずっと楽しいですね。

だから、たとえば、言葉と漢字を使って、作文など文章が書けるようにしましょう。自分の意見や感じたことを文章に書けると楽しいですよ。公式や計算だって、これを使って問題が解けるようになったら、算数が得意になりますよ。勉強して分かったことは、生活や学習にどんどん使うようにしましょうね。



大人の皆様へ（パパ&ママ、ジジ&ババ）



子どもは、びっくりするようなことを言うことがある。全国の高校生が日本一を争うクイズ番組を見ていた小4の子どもが、「答えは、簡単だよ。113番目の物質の基になる元素ニホニウム（Nh Nihonium）だよ」と。正解が発表になり、本当にそうでした。「すごいね、こんな難しいことが、小学生なのに分かるなんて！」と褒めたら、「ず

っと前、ニュースでやっていたでしょ！」と鼻をぴくぴくさせていた。

それ以来、前よりもいろいろなことに興味を持ち、あれこれ教えてくれるようになった。子どもは、褒めるのが一番だと改めてわかった次第である。

学校の先生がたへ

自発的（自分から取り組む）・主体的（自分でする）に学ぶ子供を育てるためには、「基本的な指導技術の習得」が必要かつ重要です。ですから、子どもの学力「知識・技能の理解と確実な習得、知識・技能を使って問題を解くために必要な思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学習に向かう態度（学習意欲）の高揚」など「質の高い教育」を一層確かなものにするために、先生方には一歩先を見すえた研修が大事だそうです。もっともなことです。

特に、AL(アクティブラーニング：主体的・対話的で深い学び)、UD(ユニバーサルデザイン：誰にも優しい設備や環境、特に「どの子も学びに参加できる」授業づくり)、CM(カリキュラムマネジメント：教育課程や指導計画のPDCA)、プログラミング教育(プログラミング的思考、コンピューショナル・シンキング：Computational Thinking 人間またはコンピュータが問題の解決策を効果的に実行する思考プロセスなど)、ESD (Education for Sustainable Development：持続可能な開発のための教育)、これからの子どもに必要な資質・能力の3つの柱(①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等、③学びに向かう力・人間性など)、各教科において育成する「見方や考え方」、小学校英語科の目標・内容・指導法、道徳科の授業と評価などについて、チーム学校として全教員が参加する研修が求められます。次期学習指導要領の中身もはっきりしてきました。先取り研修をお勧めします。

★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一宇荘」「至楽荘」「成美教育文化会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。